



呉市インキュベーション施設（呉サポート・コア）に入居する事業者情報の新聞記事への掲載について

呉サポート・コアに入居する宇宙開発分野に取り組む事業者が、日刊工業新聞（9月1日付け）に掲載されました。

くれ産業振興センターから、別紙のとおり資料提供を受けましたので情報提供します。

なお、今後の展望としては、宇宙開発に係る協業体制の確立や技術融合が期待されるとともに、市内産業とのコミュニティの活性化を目指して取り組んでいきます（詳細別紙）。

《両社の入居期間》

事業者名	入居期間（呉サポート・コア）	
コムリード	H31. 3. 29 入居 ハイドロラボ	R2. 4. 22 事業主体変更 コムリード
スペースウォーカー		R3. 6. 21 入居

R3. 7. 13 合併
スペースウォーカー
に統合

インキュベーション施設関連NEWS

【メディア情報】日刊工業新聞(9月1日付け)

<p>コムリードの 吸収合併完了</p>	<p>スペースウォーカー スペースウォーカー</p>
<p>スペースウォーカー(東京都港区、真鍋顕秀最高経営責任者「CEO」)は31日、次世代の複合材高圧タンクなどの開発・製造技術をもつコムリード(島根県江津市、山本睦也社長)の吸収合併を7月13日に完了したと発表した。スペースウォーカーは「誰もが飛行機に乗るように自由に宇宙を行き来する未来の実現」を目指し、再使用型有翼ロケットの研究開発を行うスタートアップ。</p>	<p>コムリードの山本社長は、スペースウォーカーの技術顧問に就任。新たに複合材技術部を発足し、広島県呉市に拠点を新設した。なお、従来のコムリードの業務、顧客との契約などは、スペースウォーカーが全て承継した。</p>

【企業概要等】

◆CoMReD株式会社

2019年、中国工業において超高压水素タンク研究を進めてきた山本睦也氏がハイドロラボを設立。さらに、山本氏がプロジェクトリーダーを務めたJAXAとの水素エネルギー社会の実現に向けた高圧複合容器に関する共同研究成果の実用化を求める声を受け、同年CoMReD(株)を設立。

◆株式会社SPACE WALKER

2018年、「誰もが飛行機に乗るように自由に宇宙を行き来する未来の実現」に向けて、再使用型有翼ロケットを研究開発企業として設立。現在、川崎重工らとの技術アライアンスを基盤に、同ロケットの研究開発に取り組む。

◆両社とくれ産業振興センターとのかかわり

くれ産業振興センターが管理運営する、呉サポート・コアに入居中のコムリード(H31.3.29入居)を、当センターがメンターとして宇宙開発分野において長年にわたり支援してきた。また、同施設に新規入居したスペースウォーカー(R3.6.21入居)も、同分野に関わる事業展開を進めていたことから、両社がさらなる発展を目指し、合併に至ることになった。

【今後の展望】

◆協業体制の確立、技術融合

今回の合併により、スペースウォーカーの複合材技術部が発足し、コムリードの代表である山本氏がその技術顧問に就任した。今後、再使用型ロケットに軽量かつ強靱な燃料タンクが搭載される技術融合が進むことで、呉市発のサステナブルな宇宙開発の実現が期待される。

◆市内産業コミュニティの活性化

今後、くれ産業振興センターが管理するインキュベーション施設が、環境に配慮したエネルギー利用といった次世代型宇宙開発の拠点となるよう、当センターが呉自社商品開発協議会(KIT21)や2つの人材育成塾の塾生、Bit's呉アカデミアの受講生、近隣の大学生等といった市内各分野との連携を促しつつ、コミュニティ間交流の活性化を目指す。